

# アジアで緊急支援報告

## AMDA本部で職員ら

昨年12月にインドネシアのスンダ海峡で発生した津波と、スリランカ北部で発

生した洪水の緊急支援を行った国際医療NGO「AMDA（アムダ）」の職員ら

が9日、岡山市北区のアムダ本部で、現地での活動報告を行った。

職員の神倉裕太郎さん（26）は、昨年12月27日～1月1日、インドネシアのジャワ島西部で、現地の災害対策本部や保健局などで情

報収集をしたり、医療ニーズをまとめたりする調整員として活動。さらに、アムダの現地支部の医師や看護師らによる医療チームとともに、巡回診療や物資の配布もした。

津波は海峡にある火山島の噴火に伴う山体崩壊が原因とみられており、事前に地震がなかったことから、被災者の多くが「津波を予想していなかった」と不安を口にしていたといい、「今後、心的外傷後ストレス障害（PTSD）にも注意が必要」と指摘。現地の医療チームが、避難所で子ども

を笑わせる姿を見て、「心的支援は物的支援よりも難しいが、みんなが楽しめるような機会を作る大切さを学んだ。日本での活動にも生かしたい」と話した。

また、アムダの緊急救援ネットワーク登録看護師の山崎秀明さん（31）は、年末年始にかけて、スリランカで被災した家庭を訪問して健康相談をしたほか、救急箱や子ども用の学用品などを配布。「洪水の発生直後から、政府や病院が体系的に動いていたおかげで、必要な物資を適切に支援できた」と振り返った。